

高分子加工技術研究会第 61 回例会参加募集

主催 : 日本レオロジー学会高分子加工技術研究会
共催 : 中部プラスチック技術振興会, 中部金型技術振興会
日時 : 2006 年 6 月 16 日 (金) 午後 1 時 20 分より (終了予定 4 時 30 分)
場所 : 名古屋市工業研究所 管理棟 3 階 第 1 会議室
〒456-0058 名古屋市熱田区六番 3-4-41, Tel:052-654-9902
地下鉄 (名城線)「六番町」下車,

主題 : レオロジーデータの CAE への応用

プログラム :

1. キャピラリーレオメータの利用法

… レオラボラトリ(株) 藤田 順二 氏 (Malvern Bohlin)

射出成形に見られるような速いせん断速度での流動特性解析には, キャピラリーレオメータが有効な手段となります. 本講演ではオリフィスダイを備えたツインボアキャピラリーレオメータによるせん断粘度・伸張粘度の測定ならびに, そのデータの利用法についてお話させていただきます.

2. 樹脂産業における PVT 測定の活用

… (株)サイレンスネット 堀口 只果 氏 (Gnomix)

現在, 高分子はより厳しい条件下で使用されるようになってきています. その要請に応えるには結晶化, ガラス化, あるいは固体化の処理の過程で生成される高分子の構造に対して, 精度の高い制御が必要となります. 同様に重要であるのがその処理によって生成されたパーツの収縮やたわみの特性です. これらのプロセスにおいて重要なパラメータの 1 つが圧力であり, 処理過程あるいは最終使用時の高分子特性や挙動を知る為に, 大気圧領域から高压領域 (200MPa) までのデータを取得することが必要となります. そしてこのデータを取得する為の装置が PVT 装置です. この PVT 装置に関しての測定原理及びその取得データの見方についてお話させていただきます.

3. モールドフローにおける流動解析と使用される樹脂データ

…モールドフロー・ジャパン(株)

モールドフローの樹脂流動解析によって充填・保圧・金型冷却・反り解析 (場合によってはガラス繊維配向解析) がどのように実施されるのかを実演し, 使用される樹脂データベース (粘度・PVT データ, 機械特性) の説明の中でキャピラリーレオメータによる測定値がどのように利用されるのかを解説します.

講演終了後, 名古屋市工業研究所中間実験工場にて, キャピラリーレオメータ (Rosand RH-7) の実機デモンストレーションを行います.

参加費 : 無料.

申込方法 : 氏名・所属・連絡先住所を明記し, ハガキまたはメールにて, 6 月 5 日 (月) までに下記宛お申込下さい.

申込先 : 〒456-0058 名古屋市熱田区六番 3-4-41 名古屋市工業研究所
材料技術部 有機材料研究室 岡本和明 Tel:052-654-9902, Fax:052-654-6788
E-mail : okamoto.kazuaki@nmiri.city.nagoya.jp